

令和 9 年 度

琉球大学大学院理工学研究科
博士前期課程
【工 学 専 攻】

GEプログラム特別選考要項
(琉球大学工学部GEプログラム学生限定)



令和 8 年 5 月

国立大学法人 琉球大学大学院理工学研究科

<https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/graduate/>

琉球大学大学院理工学研究科

博士前期課程

【工 学 専 攻】

人材の養成及び教育・研究上の目的

工学分野における高度な専門知識と研究開発・研究遂行能力を身につけ、国際社会に貢献できる人材を養成する目的を実現するため、ディプロマ・ポリシーを以下のとおりとします。

- (1) 工学分野における高度な専門知識及び技術とその応用力を身につけます。
- (2) 専門分野の知識と技術を活用し、広い視野を持って工学分野の問題に対し、状況把握と課題設定ができ、実践的で創造的な解決力を身につけます。
- (3) 多様な人々と連携できるコミュニケーション能力及び論理的説明が可能なプレゼンテーション能力を身につけます。
- (4) 技術者、研究者としての社会的責任を理解し高い倫理性に基づき行動することができる能力を身につけます。

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

社会から工学系に求められている高度専門知識と技術を修得し、技術者・研究者として広く国内外で活躍する意欲のある人材を求めます。

目 次

■ G E プログラム特別選考 ■

1. 趣旨	1
2. 選考人員	1
3. 申請資格	1
4. 申請期間	2
5. 申請手続	2
6. 選考方法	3
7. 配点	3
8. 注意事項	3
9. 選考結果発表	3
10. 検定料	3
11. 入学手続	3
12. 長期履修制度	4
13. 障がい等を有する入学志願者の事前相談について	4
14. 個人情報の取扱い	4

■入試案内添付資料■

15. 理工学研究科博士前期課程工学専攻研究内容	5
--------------------------	---

■申請書等様式（別添）■

問合せ先

琉球大学 工学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 098-895-8583（直通）

F A X 098-895-8590

Eメール kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

募集要項及び各種様式は、理工学研究科ホームページ（<https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/graduate/>）よりダウンロードして使用してください。

GEプログラム特別選考

1. 趣旨

GEプログラムは、工学部と大学院理工学研究科博士前期課程を含む6年間一貫の教育プログラムで、国際的に貢献できる高度専門技術者を育成し、日本そして地域の産業を牽引し、製造（次世代型ものづくり）、エネルギー、情報通信、建設、環境、防災、電力などの産業に新たな価値を創造できるグローバル時代に対応した人材を育成することを目的としています。

2. 選考人員

専攻	選考人員	プログラム名	選考人員（目安）
工学	約35名	機械システム工学	7名程度
		電気電子工学	7名程度
		社会基盤デザイン	4名程度
		建築学	4名程度
		システム情報工学	8名程度
		知能情報	5名程度

（注）合格者が選考人員に満たない場合は、その分を一般選抜（筆記型）の募集人員に加えます。

3. 申請資格

次の（1）及び（2）に該当する者としてします。

（1）選考前に本学工学部GEプログラム学生として登録しており、令和9年3月31日までに本学工学部を卒業見込みの者

（2）選考された場合は、入学を確約し、引き続き、GEプログラムに登録する者

※ 事前に必ず志望プログラムの希望指導教員と直接相談してから申請してください。

4. 申請期間

(1) 令和8年6月15日(月)～6月19日(金)

受付時間は、9:00～17:15(ただし、12:00～13:00及び土・日を除く。)

(2) 郵送による申請の場合は、必ず書留速達とし、(1)の申請期間内に(4)の「提出先」に必着のこと。なお、申請期間内に到着しない場合は、受理しないので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。

(3) 受理された申請書類は、いかなる理由があっても返還しません。

(4) 提出先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
国立大学法人琉球大学 工学部 学務係 TEL 098-895-8583 (直通)

5. 申請手続

申請者は、次表の申請書類等を添えて、上記4.の「(4)提出先」へ提出してください。なお、郵送の場合は、封筒に「GEプログラム特別選考申請」と朱書してください。

申請書類等	注意事項
①GEプログラム選考申請書・入学確約書	本選考要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。
②受験番号確認票	本選考要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。 下記期間中に工学部事務室にて出願者本人に配付します。 ※受験番号確認票配付期間：令和8年6月24日(水)～30日(火) 9時00分から17時15分(12時から13時を除く)※平日のみ
③申請者整理票	本選考要項所定の用紙に記入のうえ提出してください。
④卒業見込証明書	琉球大学工学部長が作成したもの。※自動発行機から発行してください。
⑤成績原簿	本学の教務情報システムより印刷のうえ提出してください。
⑥研究計画概要	本選考要項所定の様式に従って作成してください。
⑦外国語(英語)試験スコア票	TOEFL-iBT, TOEFL-ITP, TOEIC (TOEIC Listening & Reading 又は, TOEIC Speaking & Writingのいずれか。), TOEIC-IP (TOEIC Listening & Reading。オンラインテストは不可。), GTEC Academic (2技能又は4技能のいずれか。), GTEC Business (2技能又は4技能のいずれか。), Duolingo English Testのいずれかのスコア票(コピーも可とする)を提出すること。(複数提出も認めます。その場合は、有利なスコアを採用します。)。ただし、スコア票は令和6年4月1日以降受験のものに限ります。また、上記スコア以外のスコア票を利用したい場合は、事前に工学部学務係へ連絡すること。

6. 選考方法

選考は、学業成績及び出願書類を総合して判定します。

7. 配点

配点		
学業成績	英語スコア	研究計画
400	100	200

8. 注意事項

- (1) 申請後の書類記載事項の変更は認めません。
- (2) 本特別選考で合格しなかった者は、一般選抜（筆記型、口頭試問型）に出願することができます。一般選抜募集要項に従って申請してください。なお、一般選抜に出願する際には、別途検定料の納付が必要です。

9. 選考結果発表

選考結果は、以下の期日に工学部1号館事務室前に掲示します。また、琉球大学理工学研究科（工学系）ホームページ(<https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/graduate/>) に掲載するとともに、合格者に郵送にて通知します。

GEプログラム特別選考	令和8年7月28日（火）13:00頃
-------------	--------------------

10. 検定料

本特別選考に係る検定料は、本学の規定により免除されます。

11. 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続期間については、令和9年3月を予定しています。

(2) 入学料及び授業料

① 入学料は本学の規定により免除されます。

② 授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）（予定）

（注）上記の授業料は予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行なわれた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

③ 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

④ 授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。）は、所定の免除申請手続を行なうことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、授業料の納付が猶予されます。

(3) 入学手続場所：琉球大学工学部事務室（工学部1号館1階）

1 2. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限（2年間（4学期））を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、あらかじめ事前に指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談のうえ、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

1 3. 障がい等を有する入学志願者の事前相談について

本特別選考に申請する者で、身体等に障がい等がある場合は、修学上の配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ工学部学務係（TEL 098-895-8583）に申し出てください。

1 4. 個人情報の取扱い

(1) 本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、次のとおり利用又は提供しますので、あらかじめご了承ください。

①入学者選抜、合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。

②入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき、学生支援関係業務（健康診断、入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除、奨学生採用、就職支援、入寮手続等）、教務関係業務（学籍管理、修学指導、成績管理等）、納入金関係業務（授業料徴収等）で利用します。

③入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお、統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は、個人が特定できないよう配慮します。

④本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援財団、各研究科等同窓会、各研究科等後援会及び琉球大学生生活協同組合に、氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。

(2) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。

(3) 本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

15. 理工学研究科博士前期課程工学専攻研究内容

プログラム名	研究内容
機械システム工学	傾斜機能材料, 多孔質体, 金属, プラスチックス, セラミックス, 電析薄膜, 電気化学測定法, 相転移論, 射出成形, 鋳造, 塑性加工, 切削加工, 研削, 溶接, 溶射, 合金接合, 腐食, 防食, 腐食疲労, 疲労破壊, 転位組織, 摩耗, 塑性力学, 塑性構成式, 破面解析, 破壊力学, 計算機シミュレーション (有限要素法, 有限差分法, 境界適合要素法, モンテカルロ法)
	凝縮熱伝達, 熱交換器, 伝熱促進・制御, 電子機器の冷却, 二酸化炭素の分離回収, CCS (二酸化炭素固定化), クラスレートハイドレート, 分離技術, 濃縮技術, 海水淡水化, 内燃機関, 噴霧の微粒化と着火燃焼, プラズマ工学, 溶接工学, 非定常流れ, 乱流境界層, 流体関連振動, 混相流, 数値流体力学, 流体計測, 流れの可視化, 風力エネルギー, 水素エネルギー, 燃料電池, 移動現象
	画像処理, 信号処理, 最適制御, ロバスト制御, 神経回路網, 遺伝アルゴリズム, 応用振動工学, ロボットビジョン, 非線形制御, 可視化画像・情報解析
電気電子工学	電気機器制御, 自然エネルギー, エネルギー変換, パワーエレクトロニクス, プラズマの発生と制御, 電力工学, 電力系統工学, 磁性材料, 磁気応用, 現代制御理論, 知的制御, 非線形制御, 生体医工学, 大気電気学
	機能性薄膜材料, 薄膜半導体プロセス, 有機エレクトロニクス, プラズマ応用, 多値論理回路の合成, 超高速演算回路の設計, 量子計算機の設計, ソフトコンピューティングと画像処理, 情報通信工学, 光伝送工学
社会基盤デザイン	社会システム計画学, 災害リスクマネジメント, 交通計画, 観光地域計画, 景観デザイン, 参加型まちづくり, 海岸工学, 海洋開発工学, 河川工学, 砂防工学, 応用連続体力学, 数値流体力学, 土質力学, 岩盤力学, 地盤環境工学, 応用地質学, 地盤防災, 鋼構造, 橋梁工学, 座屈・耐荷力, 疲労, 腐食, 塩害環境評価, コンクリートの材料分析・材料設計, コンクリート構造物の耐荷性・耐久性・耐震性, 劣化環境評価, 各種劣化診断・予測, 維持管理・モニタリング技術, 混和材の有効利用
建築学	建築計画, 建築意匠, 建築史, 住宅計画, 持続可能建築, 省エネルギー建築, 都市熱環境, 建築熱環境, 数値流体力学, 騒音制御, 音響設計, 都市計画, 地域開発, ランドスケープ, 鉄筋コンクリート構造, 補強コンクリートブロック構造, 木質構造, 耐震性能, 耐震補強, 鉄筋コンクリートの耐久性, 塩害環境評価, 複合材料, 建築材料, フレッシュコンクリートのレオロジー, 計算力学, 環境シミュレーション, フライアッシュの有効利用, 非線形解析, 有限要素解析, 機械学習
システム情報工学	機械学習, 深層学習, 人工知能, データマイニング, 無線通信システム, 生体医工学, 交通計画, 数値流体力学, 劣化環境評価, 各種劣化診断・予測, モニタリング技術, 環境シミュレーション, 画像処理, 計算工学, 非線形制御

知能情報	人工知能, 知能ロボット, 知能情報処理, 機械学習, データサイエンス, データマイニング, 確率モデル, 計算工学, アルゴリズム, 並列処理, 情報源符号化, 伝送, 情報セキュリティ, ヒューマンコンピュータインタラクション, UI/UX, マルチメディア情報処理, メディア通信, 信号処理, 無線通信, 生体情報処理, 人工社会システム, 人間拡張工学, サービス工学, 情報可視化
------	---